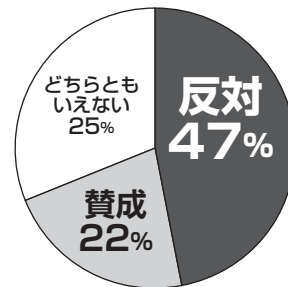


再稼働を断念せよ



高浜原発3、4号機

原発規制委が安全性を確認した原発は運転再開という政府の方針



NHK 4月5日放映

福井地裁

国の方針 根底から覆す

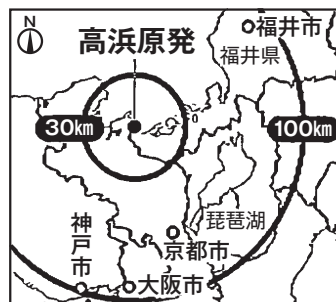
関電高浜原発3、4号機に対する再稼働差し止めの仮処分決定は、昨年5月の関電大飯原発3、4号機（福井県おおい町）に対する再稼働差し止め判決に続く画期的な判断です。仮処分決定はすぐ効力を発し、関電の異議申し立てや本訴で決定が覆されない限り、再稼働はできなくなりました。

新基準に適合も安全確保されず

政府は、新規制基準が「世界最高の基準」だと繰り返してきました。しかし、今回の決定は「新規制基準は緩やかにすぎ、これに適合しても本件原発の安全

性は確保されていない」と厳しく断じています。これは「新基準を満たした原発は再稼働させる」という政府の原発再稼働の進め方そのものを根底から覆すものです。

NHKの世論調査では、安倍政権の原発再稼働方針に「反対」は「賛成」の倍。関電や安倍政権は再稼働を断念すべきです。



新規制基準 緩やかにすぎ、これに適合しても原発の安全性は確保されていない。合理性を欠く

地震の想定 基準地震動は信頼を失っている。基準地震動を超える地震が到来しないというのは根拠に乏しい楽観的見通

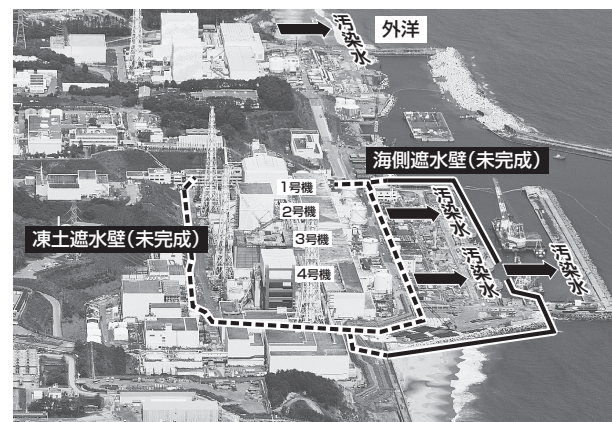
仮処分決定のポイント

しにしか過ぎない

事故時の拠点となる重要免震棟 設置が予定されているのに、猶予期間が設けられている。地震は人間の計画、意図と無関係に起きる以上、このような規制方法に合理性がない

福島原発事故

汚染水流出止まらず



汚染水を保管するタンクが立ち並び、東京電力福島第一原発

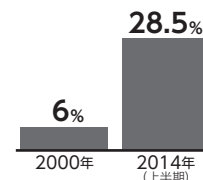
東京電力福島第一原発事故から4年以上たちましたが、福島県ではいまだに12万人もの人々が避難生活を強いられ、事故原因も明らかになっていません。原発は漏れ出す汚染水を食い止めること

ドさえ立っていません。全国の原発の「稼働ゼロ」は500日以上続いています。日本社会に何の問題も起きていません。再稼働をせず、そのまま廃炉のプロセスに入るのが一番現実的で、責任ある対応です。

「ゼロ」決断してこそ普及

「原発ゼロ」に踏み出したドイツでは、再生可能エネルギーが急速に伸び、一番の主要電源になりました。日本では原発を「ベースロード電源」としていることが、再生可能エネルギー普及の障害になっています。

ドイツで実証



再生可能エネルギー